

## 環境教育公開セミナー 開催主旨

# 私の環境教育の着眼点—環境教育のパイオニアから学ぶ—

会期：2008年8月3日(日)13:00～16:00 会場：学習院女子大学

日本環境教育学会も20周年を迎えようとしています。創設の頃に貢献された研究者、実践家、教育者の方々もある意味で世代交代の時期に来ています。

最近の若い世代との世代間コミュニケーションの機会が大切と思われます。環境教育のフロンティアの時代における工夫や試行錯誤、苦労話など「環境教育の着眼点」に触れることを通して、若い世代を中心とした会員にとっての環境教育の実践や教育の示唆になればと思います。

1コマ目は、経験・知識豊富な学会先駆者の先生方に「私の環境教育の着眼点」をお話していただき、2コマ目はそれをめぐって若い世代の会員の方々との意見交流を行いたく予定しております。

学会における世代間交流のためにも、日ごろ親しくお話をすることが少ない環境教育のフロンティアとしてご活躍されてこられた先生方と活発な議論を進める予定です。

### パネリスト

北野 日出男

1932年東京都生。(社)日本環境教育フォーラム会長。東京学芸大学名誉教授。理学博士。創価大学教育学部児童教育学科教授。専門は昆虫学。寄生蜂類の寄生生理学や生態学の研究に没頭する。1991年「寄生蜂の寄生に対する寄主昆虫の生体防御反応に関する一連の研究」に対し、日本応用動物昆虫学会から学会賞を受賞。

佐島 群 巳

1929年岩手県生。東京学芸大学名誉教授・帝京短期大学教授。1953年東京学芸大学卒業。東京学芸大学付属小金井小学校教諭、東京学芸大学教授、日本女子大学教授などを経て、現在帝京短期大学教授。その間、1991年文部省「環境教育指導資料(中学校・高等学校編)」作成協力者、1992年文部省「環境教育指導資料(小学校編)」作成協力者を務める。社会科教育、環境教育関連の著書多数。

鈴木 善 次

1933年神奈川県生。日本環境教育元会長。大阪教育大学名誉教授。東京教育大学(現：筑波大学)理学部・農学部卒業。神奈川県立教育センター研修指導主事、山口大学教養部教授、大阪教育大学教育学部教授などを経て、また日本学術会議科学史研究連絡委員会委員、科学教育研究連絡委員会委員、科学史学会全体委員、科学教育学会理事、生物教育学会理事、大阪府環境審議会委員など歴任。レイチェル・カーソン日本協会副理事。財団法人日本児童教育振興財団評議員。人と植物の博物館友の会会長。

中川 志 郎

1930年茨城県生。1952年、上野動物園に獣医として勤務。1972年、中国との国交回復の記念に贈られた、パンダ飼育プロジェクトのチーフリーダーを務める。1980年、多摩動物公園に転勤。ここでも日本初のコアラ飼育を手がける。1984年、多摩動物公園園長に就任。1987年、上野動物園園長に就任、7代目園長となる。

1990年、上野動物園退任。現在は茨城県自然博物館館長を務めると共に、日本博物館協会前会長、各種審議会、動物関連団体理事等を務め、多方面にわたり活躍中。

山田 卓 三

1933年長野県生。1975年 東京都立アイソトープ研究所遺伝研究室長を経て、国立兵庫教育大学教授として科学教育の推進に長く携わる。この間、兵庫教育大学附属幼稚園園長も務める。理学博士。国立兵庫教育大学名誉教授・名古屋芸術大学名誉教授。

日本環境教育学会運営委員、日本科学教育学会理事、日本科学協会理事(科学・文化事業委員長)、日本染色体学会理事、日本メンデル協会理事、原体験教育研究会主宰、日本野外文化教育学会理事、日本青少年育成学会副代表など数多くの役職を務める。

コーディネーター：見上一幸・谷口文章(企画委員)

(企画委員会)